

参 考 文 献

稲富隆昌 (1990) : 液状化. 国土庁防災局監修 : 1989年サンフランシスコ湾岸地震 (ロマプリータ地震) の記録, ぎょうせい刊, p. 39-40.

茂木清夫 (1981) : 地震—その本性をさぐる 東京大学出版会, 164 p.

銭 綱 (1988) : 唐山大地震—今世紀最大の震災 朝日新聞社, 375 p.

宇佐美龍夫 (1987) : 新編日本被害地震総覧 東京大学出版会, 435 p.

脇田 宏 (1987) : 地下水などの異常—地球化学的観測. 地震の事典, 朝倉書店, p. 433-439.

KOIDE Hitoshi (1990) : Earthquake prediction and hazard reduction. —Study in Geological Survey of Japan.

<受付 : 1990年 5月31日>

地質調査所研究講演会

『地震地質学は社会にどのように貢献できるか』

地震や断層をはじめとする地殻変動の科学, 地震災害の評価・予測の科学としての地震地質学の課題と展望を探る.

主催機関 : 工業技術院地質調査所・財団法人産業技術振興協会
 協 賛 : 応用地質学会・地質学会・地震学会・東京地学協会
 開催日時 : 1990年 9月10日 (月) 13:00—17:00
 開催場所 三会堂ビル石垣記念ホール 東京都港区赤坂1-9-13 TEL 03-582-7451
 営団地下鉄銀座線 虎ノ門駅より徒歩5分 アメリカ大使館前

参加費 : 無料 (ただし一般参加者はテキスト代実費)

講演会プログラム		(司会 企画室長 津 宏治)
13:00—13:20	開会の挨拶	(財)日本産業技術振興協会 専務理事 清水嘉重郎 地質調査所 所 長 石原 舜三
13:20—14:00	特別講演	
	「地震地質学から生まれた地震評価法—固有地震モデルについて」	
	(財)原子力工学試験センター 特別顧問	垣見 俊弘
14:00—14:30	「地質調査所における地震地質学」	環境地質部地震地質課長 衣笠 善博
14:30—15:00	「古地震; なぜ古地震を研究するのか」	近畿・中部地域地質センター主研 寒川 旭
15:00—15:10	休憩	
15:10—15:40	「首都圏の基盤構造—直下型地震や地震災害と関連して—」	環境地質部地震物性課長 長谷川 功
15:40—16:20	特別講演	
	「地震地質学に期待するもの, 社会から, 業界から」	
	(社)全国地質調査業協会連合会 相談役	深田 淳夫
16:20—16:50	「地震地質学の今後の展望」	環境地質部地震地質課主研 山崎 晴雄
16:50—17:00	閉会の挨拶	環境地質部長 小出 仁
	(連絡先: 地質調査所企画室 高橋 TEL 0298-54-3572)	